

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第5回 常任理事会

日 時：2014年 5月 14日（水）19：00～22：00

場 所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)
（ 直 前 理 事 長 ）：
（ 顧 問 ）：
（ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
（ 専 務 理 事 ）：中島(崇)
（ 監 事 ）：黒川、飯野
（ 担 当 常 任 理 事 ）：林、金
（ 全国大会招致会議議長 ）：羽石
（ 会員拡大会議議長 ）：太城
（ 協働連携特別会議議長 ）：篠崎(達)
（ 法令会計審査会議議長 ）：廣田
（ 事 務 局 長 ）：橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. J C I クリード唱和 <篠崎(達)>
3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <太城>
4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <羽石>
5. 関東地区宣言唱和 <林>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名 14 / 14 名

7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは第5回常任理事会に、今日はオンタイムではじめていただきました。そして全員がスタート時から揃っているということで、本当にありがたいという風に思います。そして日ごろからFacebookとかで委員会のメンバーや、皆さんの投稿をみさせていただいていると、本当にJCの委員会活動をしっかりしているなど、そして事務局やルームでの予約、行動をみておりますと、これも毎日のように委員会が開催されていて、そして何かの時に私もルームや事務局に立ち寄ると、本当にフォロワーのメンバーもしっかりと委員会に出席をしているということに本当に嬉しく思うわけであります。先日専務にお願いをして専務からメーリングも流れておりましたけれども、委員会議事録を提出してくださいということで、先日事務局で、委員会議事録も読ませていただきました。委員長の性格にもよるので書き方というのは色々あるのですけれども、ただ全部の委員会がしっかりとした委員会を本当に開催してくれているなどということ、本当に嬉しく思っております。そして出向をしているメンバーの人たち、こちらの活躍というのもすごく目に触れる機会がたくさんあるわけであります。もちろん関東地区の担当常任理事として、山本顧問をはじめ多くのメンバーが関東地区に出向しておりますけれども、こちら先日地区フォーラムがありましたし、役員会等々もあって、本当にみんな一人ひとりが素晴らしい活躍をしている。そして関東地区協議会の運動という点においても素晴らしい運動が、今年も構築されているなあという風に本当に思うわけであります。また日本JCにも、金常任がこちらでは総括ですけれども、また赤松君が委員長として出ているところで、国際グループもエリア会議というのが始まりまして、日本はエリアBですからASPACを来月に控えているわけでありますけれども、全てのエリア会議にいままで行っているわけであります。そこに宇都宮のメンバーも一緒についていっている、そんなところで世界で活躍しているメンバーをみるとまた誇りに思うわけであります。また小瀧副理事長も全国大会、全運のしっかりとした担い、対話集会も本当に大成功におさめられております。先日、末松議長と話をしたのですが、末松議長も小瀧君しっかりやってくれていて本当にありがとうというお言葉をいただいておりますし、そしてまた小瀧君も一緒に連れていっているメンバー、これは山田君であったり、八木君とかをしっかりと巻き込んでお育てをいただいていることに本当に感謝をするところであります。そしてこつこつと梅田君も総務委員会の担いを

しっかりとしているのは私も毎月理事会等々オブザーブをしているところですね、よく目に触れるところでございます。本当に宇都宮 J C のメンバーみんなに感謝をしているところでもあります。

メンバーみんないきいき活動できているというのは、ここにいる、特に常任理事のメンバーのみなさまがたが、よいリードをしているということの裏返しだという風に思うのです。是非、常任理事の立場、常任理事の目的というところをしっかりと考えていただいて、さらに委員会のモチベーションがあがるような言葉を是非なげかけて欲しいなという風に思うのです。魔法の言葉とでもいいでしょうか、背中を押されるような言葉、琴線に触れるような言葉を是非、委員長のみなさまには、声をかえてどンドンやる気をだささせていただきたい。それは常任理事のハンドリング次第だと思いますし、そのためのみなさまですから是非、お願いをしたいなという風に思います。今日一点お話をしたいなと思っていたのがですね、最近いろんなところでもお話をするのですが、諸大会であったりですか、動員が絡むところですか、そこで目に付くのが、やはり行くことが目的になっているふしがあるなあとということなのですね。勿論いつていただくのは非常にありがたいです。私の立場からいくと、やっぱり動員を求められるところも、もちろん役職者を輩出しているという理由もあります。みんなでいろんなところに行くのはいいのですが、非常にもったいないという風に思うのです。行ったことで満足をしているところがあるのですね。でここにいる常任理事会構成メンバーというのは、やっぱり宇都宮 J C の軸の人たちなので、ここにいる人たちがそういう姿をみせると、みんなただ行けばいいのだとなってしまうと思うのです。やっぱりいつて何をするのか、何を学ぶか、そして何を発信するかというのが一番重要なところになりますので、是非、何のために行っているかというもっと先のところまでしっかりと考えていただいて、そしてそれをみている下のメンバーの人たちも絶対いるのです。思い出して欲しいのですが、若いころ、諸大会に行った時、委員長、常任理事、副理事長に対してどういう風に入会当時みていたか、是非思い出して欲しいです。尊敬される、憧れられる人で、是非ここにいるメンバーにはいて欲しいのです。若いメンバーはみなさま方の背中を絶対追いかけます。我々が、未来の人材をつくる団体であるならば、やはりここにいる我々自身が率先して学ぶべきだと思いますし、率先して行動するべきだという風に思います。目的、しっかりと突き詰めて、自らの態度で示せる、そんなリーダーでここにいるメンバーにはあって欲しいと心からお願いを申し上げまして、本日の常任理事会の挨拶とさせていただきますという風に思います。今日が予定者から数えて 9 回目の常任理事会です。今年予定されている常任理事会は全部で 15 回です。もう半分以上過ぎていきます。しっかりと今日も取り組んでまいりましょう。

1 1 . 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1 2. 役員報告

<廣田> まず4月例会ありがとうございました。それと公益関係の話しが2点ございます。まず7月に立ち入り検査が入る予定になっております。それと3月に提出していただいた書類になりますが、手直しの方が終わりました、県の方から提出しまして照合している状態です。

<篠崎> 4月におこなわれた関東地区フォーラムの地区無事おこなわれました。ご協力ありがとうございました。J C I NOTHING BUT キャンペーンの推進計画になりますが、現在、自動販売機の設置を考えております。事務局は電気のアンペア数の問題がございますので保留となっております。コンサーレの設置に関しても、コンサーレ側との問題がいくつかございますので、慎重に協議をしていきたいと思っております。

<太城> わんぱく相撲例会でのビジターの動員ご協力ありがとうございました。今のところ10人の予定です。常任理事会構成メンバーのみなさまも動員のご協力よろしく願いいたします。それと5月26日の月曜日に12年度のブロック会長であります川端講師を呼び、公開委員会を行います。

<金> 5月31日のJ C I 3コースセミナーの案内になりますが、30名の定員の内10名と集まりが悪いので、出席の動員をお願いいたします。

<中島(崇)> 5月1日から9月30日までクールビズとなります。詳細はメーリングで流しましたのでご確認お願いいたします。4月からの新年度での行政出向が入っております。理事会構成メンバー以上の方が対象となりますが、各ラインで出向があるということをお見知りおきいただければと思います。よみがえれ宇都宮市民の会へ、地域交流委員会の横島副委員長と青少年育成委員会の岡田副委員長となっております。それから青少年育成市民会の出向に關しましては相馬委員長に出発していただいております、5月の22日と30日の日程となっております。

1 3. 協議事項

協-01 3月例会 全国大会招致セミナー 開催報告並びに決算（案）について
協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

<太城> 審議対象資料がいろいろありますけどこれはいらぬのでは。

<中島(崇)>削除願います。

<廣田> 参考資料の2番の県に提出する事業報告書の添付の方よろしく願います。

<村上> 色々な意見、検証ができていいのかなと思いますが、理事会構成メンバーの意識をあげていくにはどうゆうことをしていくのかという具体的なところがないと、ただの批判的な感じになってしまうので、そこだけ考えていただければと思います。

協-02 6月例会 第64回ASPAC山形大会発信計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>誤字が3か所あります。まず実施日時のところの6月7日のジャパンナイトについては、6月6日金曜日となります。それから参加員数計画の4月度総数を5月度総数に修正願います。最後に実施組織になりますが、メンバーの役割が報告会と書いてありますが、議案の内容が変わっていますので、文言の修正をお願いします。

<太城> 事前説明会ということでビジターさんが参加しやすいようにしていただいたのですが、6月1日の日曜日開催となっておりますが、どういった理由でこの日になったのでしょうか。

<橋本> もともとASPACの前の日程で空いている日というのが6月の1日、2日、3日がぎりぎりとれる日程でございまして、この議案とは別ですが、ちょうど6月1日に正副プレゼンツバーベキューが予定されていたので、懇親会としてバーベキューを活用することができれば、恐らくメンバーの参加もしやすくなるのではないかという点があり、この日にさせていただきました。

<太城> 例会になりますとスーツ着用になると思いますので、スーツでバーベキューというのもどうかというのと、ビジターさんの気持ちを考えると日曜日開催はよろしくないのかと思います。

<橋本> まさしく副理事長がおっしゃっているとおりでございます、事前説明会でのスーツの着用を外すことができるのでありましたら、委員会としてもそちらの方がいいなと考えておりましたので、委員会の方で再度考えたいと思います。

<羽石> 予算書を見ると、10万円で映像の方を開催中に作るという設えになっていて、事前に行う例会で5万円かかるようになっておりますが、予算のバランスとしてどうなのかなと思うのと、ジャパンナイトの開催中に、台湾ナイト、マレーシアナイトもやられているので、そこら辺も一緒に絡めた方が、国際交流につながるのではないのかなと思うのですが、そこに関してはどのよいにお考えでしょうか。

<橋本> まず一点目に関しましては委員会に持ち帰り考えたいと思います。ジャパンナイトに関しましては、委員会の方でも協議をしておりまして、いろんな国の会場に行ってしまうと一体感が薄れるのではないかと考えておりまして、ジャパンナイトの会場にも各国の方々がたくさんきており交流は可能ではないかというふうを考えております。

<金> 事前説明会に関してなのですが、これは何の目的でどういった方を対象にやられるのでしょうか。

<橋本> 事業目的に書いてあるとおりでありまして、まず本大会に出ることが大前提の話であり、少しでも動員をしやすくするために、メンバーのみなさまが行きたくなるようASPACはどういうものを理解していただくための事前説明会となります。

<金> 参加を促すためのものならば、この事前説明会だけではなくいろんな手法を使って、たとえばこの日に参加できない人もいるかもしれません。ASPACの魅力伝える方法をより考えた方がよろしいのではないのでしょうか。それと会場のレイアウトは出ているのでしょうか。

<橋本> まずは事前説明会以外の手法に関しましては、委員会に持ち帰り検討いたし

ます。事前説明会の会場についてのレイアウトは次回の理事会までに添付いたします。

<金> 追加でタイムスケジュールの会場名がコンセーレ大ホールになっていますので、そちらの訂正もお願いいたします。

<林> 羽石議長の話すと被りますが、映像作成で予算の大部分を使っており、活用の仕方的に弱い気がするのですが、どのようにお考えでしょうか。

<橋本> J C 運動発信委員会の事業であり、運動を発信する委員会が執りおこなっているというのが大前提となっております。ただの報告議案を将来的に作るという考えもあったのですが、折角発信することを専門でやっている委員会でおこなう例会でありますので、実際の A S P A C の風景であったり、どのように楽しんで、どのような人が集まっているのか等々を、もっとも印象に残りやすい映像に残すことにより、将来の L O M メンバーなどにも J C I の知識や勉強にもなるかと思い映像をつくらうと考えております。発信委員会が発信という観点で考えればよい映像はつくれると思いますし、価値が高いのではないかと考えております。

<篠崎> 登録は別として参加していただきたいというところで、本当に大会に参加していただきたいのであれば、パネルディスカッション方式で魅力うんぬんありましたけれど、それよりも日本本会の方から誰かお招きして魅力を話していただいた方がより伝わるのではないのでしょうか、大会間際なので色々準備の方、されているのであれば、同じく運動を発信している担当委員会の方で P R ムービーというのもあるのかなと思いましたので、そういったものも事前説明会の前に流して説明するのもありなのかなと思いました。

<橋本> 実現できるよう委員会で検討したいと思います。

<金> ジャパンナイトについてダーツの旅の設えを考えておられますが、他 L O M との交流だけでなくせつかく世界から集まるわけなので、海外から来る方との交流を考えた方がよいのではと思うのと、餃子を焼こうと考えていると思いますが、どうやって焼く人を募っていくのか、そういった手法の部分をも具体的にもう少し詰めていただければと思うのですが、どのようにお考えでしょうか。

<橋本> 餃子に関しては誰が見ても具体的に細かくわかるよう次回の理事会までにつ

くりあげたいと思います。それと他LOMとの交流とありますが、これは海外からくる方々も含めた意味で書いておりますが、次回理事会までにもう少し具体的な設えを考えてまいります。

<朝田> ASPAC山形大会における役割のなかで、世界組織であるわたしたちの運動を伝えるとありますが、これは対外に向けて発信するという意味合いなのでしょうか。もしそういった意味合いであるのでしたら対外目的のところに書くべきではないでしょうか。意見です。

<小瀧> 現状のASPACの登録数はどれぐらいなのでしょう。今の登録数をさらに上回らないとやる意味がないと思いますので、やはりパネルディスカッションだけではなくその手法をもう少し考えていただきたいと思います。意見です。

<村上> 羽石議長からヒントがありましたが、各国ナイトも同じ会場でやられるので、この機会を逃す手はないと思います。おそらく登録書がなく入れるので、それをまく活用した方がいいと思いました。あとは篠崎委員長が話していた日本JCから誰か呼びするという話がありましたが、パネルディスカッションで伝わりきれののかなと思いました。何よりも今年のASPACの魅力が一番語れるのは日本JCに委員長として出向している赤松委員長なのです。そんな近くにいるのだからお願いをしては如何でしょうか。その他、日本の専門の委員会もありますので、来ていただいてどういったファンクションがあるかを説明していただくのはすごくいいことだと思います。今月審議でやることがまだ沢山あるので、細かいところしっかりと詰めてきてください。

協-03 6月事業 全国大会関連事業 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

<金> ポスターについてなんですが、これをやることによってどうなるかのメッセージ性が伝わってこない。市民の方々が見てその目的がわかるようなポスターに仕上げてください。それとポスターの配布先になりますが、今回まちなかでやるので、予算が取れるのであれば、市内の飲食店などにたくさん配布して告知をしていった方がよいのではと思いました。それと飲食ブースを出展される方とどこまで打ち合わせができていますか。何食出すか、どんな物

を出してその金額設定だとか、あと保健所に関してどのようにしていくのか、そういった打ち合わせ状況をご説明いただきたいと思います。

<羽石> 金額、数量に関しては現在打ち合わせがまだできておりませんので、取り急ぎおこないたいと思います。保健所につきましては事前に話はしておりまして、届け出をこれから行ってまいります。ポスターについては文言の検討をさせていただきます。予算的に厳しい状況ではありますが、印刷業者の方と話を進めたいと思います。貼る場所についてはいままでの例会等で貼った場所で貼ると、その他の場所についてはもう一度委員会で検討していきたいと思います。

<中島(崇)> 補足ですが、ポスターに関しては審議でひとつ入っているのと、参考資料にポスター第2案というかたちで入っているのですが、その違い、意図はあるのでしょうか。

<羽石> 会議体の方で二つの業者をお願いをしまして、この二つの案が出てきました。最終的にブルーの審議対象資料の方で押していきたいと思うのですが、正直会議体の方でもうまく纏まっていない部分がありましたので、こちらのポスターのご意見もいただければというかたちで参考資料の方に載せました。

<中島(崇)> 金常任はこちらのポスター二点とも見てのご意見というかたちでよろしいですか。

<金> 色合い外見うんぬんではなくて、文言に対しての意見です。対象者を明確にし、これをやることによりどういうことが見えてくるのか、その辺もう少し補足の文言があると、来場者に対してもわかりやすいのかなと感じましたので。

<篠崎(達)> 外部協力者のところで、日本ユニセフ協会の協力体制について教えてください。

<羽石> こちらについては募金というかたちで考えておりまして、フードブースを出し利益を出すことができないと法令会計審査の方からご指摘をいただいております、今回出いただく業者につきましては、チャリティー前提で出いただくかたちになります。販売で出た利益についてはチャリティーとして寄付をするかたちになります。ユニセフという団体は信頼性のある団体であ

るのでこちらに決めさせていただきました。NOTHING BUT NETSというご意見もいただいておりますが、そちらの日本J Cの担当委員会の方にもヒアリングで確認をしたところ、特定公益法人による税制上の控除の仕組みをよく理解されていないようで、今年度に関しては企業からの寄付を受け付けたことがないという回答がございました。その点をふまえて、今回募金ではなく、販売した利益の寄付というのを主幹におきましたので、そういった点からユニセフに決めさせていただきました。

<篠崎(達)> どうしてNOTHING BUT NETSのLOMでの担当である私の会議体に何の相談もなかったのか、不快に感じております。流れというのはどうしてもあると思うので、間を抜いてしまうのは如何なものでしょうか。逆の立場になって考えてください。

<羽石> 申しわけありませんでした。

<太城> 予算書の会場設営費をだいぶ落としてきましたけど、バンバ広場で、無料で貸してもらえるものもあるはずですよ。もっと削減できるところがまだまだあるのではと思います。予算が削れば先程金常任のいていた広報の方にも合わせると思いますので、細かい打ち合わせがまだまだできていないのではと感じました。

<羽石> バンバ市民広場の料金表を基に出しているのですが、無料で貸していただけるのであれば削れると思いますので、会議体の方でも早急に詰めて、予算の割り引き方を調べるようにいたします。

<林> 子どもが喜ぶ内容が多くあると思いますが、子どもがたくさんいるところなど、ポスターの配布先をもう少し考えてもらうのと、配布する数が少ないと思いますので、印刷業者に相談し、考慮していただきたいと思います。

<廣田> 雨天等で中止になった場合の対応はどのようにお考えでしょうか。

<羽石> 審議事項11番の出店に関する注意事項というものがあまして、こちらの内容に沿って対応いたします。

<村上> まずポスターがダメです。理事会前に事前に専務の確認を取ってもらってください。事業の内容はだいぶよくなってきています。目的はどこまでいって

もこのイベントにきてくれた市民の人であり、宇都宮のまちづくりに将来参画して行くような、当事者意識の醸成をしていかななくてはいけないというところだと思います。地域の魅力だけをみせるといいまちだなど、郷土愛の醸成にはつながりますが、そこから先を我々運動体が伝える仕掛けとして重要になってくるのかなと思ったのが、学生のビジョンの部分です。それと市役所の二点だと思うのです。今は触れているだけですが、具体的にどういったことをやり、みせて行くかはもう少し突き詰めていった方がいいのかなと思いました。新規事業なので体外の動員についてはそこまで注力していないのかなと思うのですが、まず我々 J C メンバー自体が市民ですから、まず多くのメンバーが絡めるようなかたちにしていかなとけないと思います。たとえば宮まつりみたいに一斉にポスター貼りをすれば、新規事業であってもこの日にやるのだなというのがわかり、腰掛づくりにもなるしこういったことも大切なのかなと思いますので検討してみてください。市民を巻き込む運動をするといつてメンバーが 50 人しか来ていないのでは問題あるのかなと思いますので、よろしくお願ひします。ユニセフの話しになりますが、まず NOTHING BUT NETS をもう一度検討してください。これは J C I が国連基金と連動して行っている運動なのです。これはただの募金ではなく我々には運動体の組織としてアフリカの現状を伝え、広げて行く責任があるのです。篠崎議長、担当委員会とうまく連携をとり進めてください。

協-04 7月例会 会員スキルアップ例会開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、篠崎議長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>フォーマットの指摘になりますが、一番最初の段の担当役職役員名、ここのところは4断のところ3段になっておりますので修正願ひます。細かいところの事業予算のリンクが切れていますので、飛ぶようにしてください。それから対象者の部分、宇都宮メンバー、ビジターなどとありますが、などは削除してください。それから特別会員の予算計上がされているのですが、であれば特別会員もそこに入ってくるのかなというところと。各種会員メンバーも同じです。精査してください。続きまして参加員数計画は5月度総数に直してください。それから正副でもありました動員方法の手段でバツというのが書いてありますが、これは検討したけどやらないということであれば削除してください。ホームページはやらないということですが、SNSはいくつかの手法があるので、何を利用するのかの詳細を明記してください。ヘッド

トレーナーに関しては記載をしない体でいくのでしょうか。

<篠崎(達)>お呼びする徳原ヘッドトレーナーの資格を取得するのが今月でして、時期的な問題で現段階では議案には載せられないのが現状です。6月審議クールの時には記載をするという認識でお願いします。

<中島(崇)>会場のレイアウトですが、120名のレイアウトになっているかと思います。参加員数計画を計画するのであれば足りないので、整合性はつけてください。

<金> レイアウトは委員会で決めたのですか、それとも日本J Cからの要望なのでしょうか。

<篠崎(達)>日本J Cトレーナー予定者との打ち合わせをし、そちらの要望でこのレイアウトにしています。

<金> セミナーキットがあると思うのですが、確認はとられていますか。

<篠崎(達)>プログラムに関してホームページを確認すると必要備品等書いてありますので、次回備品として参考資料の方に添付させていただきます。

<林> 番号札を配布するとありますが、座席はメンバー全員シャッフルするという意味合いでよろしいのでしょうか。

<篠崎(達)>委員会単位で座ることも考慮したのですが、新メンバーやビジターの方も多くの方と触れ合えるようにと、それとどうしても後部座席に座るメンバーの方々が多く見受けられますので、このような設えを考えました。

<林> 入会年度を分けたかたちでのシャッフルとかも方法としてはあるのかもしれないので考慮してください。

<太城> 前年度からの引き継ぎ事項はなしというのはわかるのですが、似たようなものもありますので、そういうものを入れておいた方がよろしいのではないのでしょうか。意見です。

<中島(崇)>案内文になりますが、メンバー向けの案内文の他に、特別会員用、各種会員会議所用の案内文の添付もお願いいたします。

- <小瀧> アンケートの内容が薄い気がします。意見です。
- <橋本> 人材開発のセミナーになっていると思いますが、メンバー益みたいな部分をもう少し盛り込むともっとよくなるのかなと思います。意見です。
- <村上> 目的があって、それを達成するための最高の手法がこのプログラムになるという体にしなくてはならないと思うのです。どの目的のためにこのプログラムをやるのかが見えにくいのが一点。ジャパンプライド自体のプログラムはいいのですが、日本J Cのホームページをみると、安心して生活できる社会をもう一度取り戻すためにとあるが、宇都宮市は失われているのでしょうか。それと例会でやる最良の手法をJ Cのプログラムでやらなくてもいいわけです。とにかく目的がしっかりしないとなりませんので、そこをもう一度振り返って考えてください。

協-05 第110回通常総会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 議案作成者名が総務委員長、総務副委員長となっております。こちら委員長、副委員長で修正をお願いいたします。委員会名は削除してください。
- <羽石> 質問なのですが、どういった経緯で大谷資料館になったのでしょうか。
- <橋本> 総会は最高意思決定機関でありますので、荘厳な雰囲気の中かで執り行うことが必要だろうと考えたときに大谷資料館が思いあたりました。普段と違う会場でやることにより、メンバーも気持ちが一新されて、新たな気持ちでJ C運動を迎えられるのではないかというのが一点と、二点目は大谷石自体を現在佐藤市長や石下先輩が東京オリンピックで使えないかということを進めていたり、当LOMにおいても関東地区大会の際に大谷石のプレゼントをさせてもらったりと、そういった経緯があります。そもそも宇都宮市民として大谷石をどれぐらい知っているのか、そういったことも含めまして、今回大谷資料館を選定させていただきました。
- <羽石> 総会なので、何よりも滞りなくおこなうというのが重要だと思います。意見

です。

- <金> 当初の予定から日程が変更になった理由を教えてください。
- <橋本> GPSの日程と重なってしまうという理由により日程を変えております。
- <金> 31日は月末なので普通に考えれば一番忙しい日なのではないかというのが一点と、その週の土日が宮まつり例会があり、29日には宮まつりの実行本部の全体会議が控えているので、変更するのであれば、その辺の周知を前もって十分におこなうようよろしくお願いいたします。
- <太城> 会場に椅子等の設備はあるのでしょうか。
- <橋本> そちらの方の準備は可能と聞いております。
- <林> 早めに行くと館内が観覧できるとありますが、誰か館内を案内してくれる人などはいるのでしょうか。
- <飯沼> 委員会に持ち帰り検討したいと思います。
- <羽石> 毎年この総会のあとには次年度の発表があるのですが、総会後の懇親会はどのようにお考えでしょうか。
- <橋本> 現在場所はまだ確定しておりませんが、懇親会の方は滞りなくおこなえるよう、飯沼委員長と渉外の新妻委員長と連携を取り進めております。市内周辺で考えております。
- <羽石> できれば総会に出ていただいた方への最初のお披露目になりますので、大谷の方で貯蔵しているワインですとか、そういったものをケータリングして、荘厳な雰囲気の中かで懇親会もできいいのではないかと思います。意見です。
- <小瀧> 大谷石は確かに地域の宝でいいものですが、佐藤市長、石下先輩、東京オリンピックという話しがでましたが、我々はそのために総会を開くではありません。場所はいいところですが、昨日メンバーにアクセスを聞いたところ、遠い人でJ Cルームまで40分かかる人もいて、大谷資料館でやるから仕事を早めに切りあげようとはなかなかならないと思うので、その辺もう少し手法を考え

てください。

<廣田> こういった場所でやりたい気持ちはわかるのですが、リスクは回避されておこなうようにしてください。

<太城> 月末はやはり集まりづらいのではないのでしょうか。そのために時間を遅らせているのかもしれませんが、昨年の事務方の方もいっているように、事業や例会ではなく総会なのでリスクをおかさずに、スムーズに総会を進行させることが重要だと思います。意見です。

<村上> 僕はいいチャレンジだと思っているのですが、市長が押している、先輩が押しているとゆう理由ではなく、所信にも地域らしさを再確認しと書いてあるので、それを理由にしてほしかったです。

協-06 8月 第30回わんぱく相撲全国大会 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 担当役職役員名の林常任の名前のところだけスペースが空いているので、詰めてください。

<村上> 一番は安全の部分ですが、参加する子どもたちが、全国大会に参加するまでのプロセスがあるので、子どもたちにとって本当にいい全国大会になるように、議案に出てこない部分もしっかりとフォローをするようお願いいたします。

協-07 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> ロードマップの文言がきれてしまっている部分があるので、フォーマットのな部分の修正をしてください。

- <金> ポスターの件ですが、これをみるとゲストの方が誰なのかがわからないので、わかるよう補足を付けてください。備品リストですが、各備品をどこで借りてくるかを明確にしてください。ロードマップについてはブロック内のLOMにどのようなアプローチをかけていくのかを委員会の方でしっかりと揉んでもらえればと思います。意見です。
- <小瀧> 事業目的の対外、地域社会への想いを共有するところを育むとありますが、そういった設えはあるのでしょうか。あと今年の工夫と効果が、全部ダンスをすることに主体がおかれています。もっと意義があると思いますので、もう一度ダンス例会のはじまりをよく理解していただきたいと思います。
- <木村(英)> キッズフラダンスチームを招待して、宇都宮のキッズフラダンスチームとコラボレーションをして披露するとありますが、これはできないと思います。その場所によって確執もありますし、一つひとつの動きに意味があるのですが、教える先生によって振り付けも変わってくるので難しいのではないのでしょうか。意見です。
- <太城> 笑顔デザインプロジェクトなのですが、今年も参加されるということなのですが、こちら計上の仕方はちゃんと引き継いでいるのでしょうか。委員会予算でいいのか、本会計になるのか、出るお金なのか出ないお金なのか、本当に昨年苦勞していますので、去年の委員長、日本の委員長ともよく確認をしておかないと身銭をきるという風にもなりかねないので、しっかりと確認してください。
- <橋本> 前回の理事会で代理出席をした篠原君から、保護者の方が出席したくなるような設えをとという意見があったかと思いますが、それに対してどう対応したのか、またはどう考えているのかを聞かせてください。
- <林> 抜けておりました申しわけありませんでした。ダンスに熱心な保護者の方が当然多いと思いますので、今までは女性が多かったのですが、男性の方にも多くきてもらえるような具体的な設えを委員会にて考えて、次回の理事会までには検討したいと思います。
- <羽石> ロードマップを2年後にとゆうところで進めておりますが、資料を作るだけでは意味がないと思います。今年はどういったことをやろうとお考えでしょうか。

- <林> どのような対応をしていくか、次回の理事会までに委員会の方で検討し、盛り込んでいきたいと思います。
- <羽石> 宇都宮は他のLOMよりも予算が多いです。2年という期間をかけてつくることを意識していただいて、事前に他のLOMの例会、事業などの予算などをよく調べ進めてください。意見です。
- <金> 全体的にフォーマットがかなりずれているので、次回の理事会までに修正してください。
- <村上> ポスターですが、プロが作っているのでかっこいいですが、保護者目線で見たらどうなのかなというところが気になりました。だめではありませんが、学校教育からストリートダンスがはじまっているので、業界目線ではなく、市民目線で検討してください。

協-08 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 告知計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 本体議案にもありましたが、こちらを審議資料として入れるかたちでよろしいのでしょうか。
- <林> はい。
- <金> コミセンと書いてありますが、コミュニティーセンターに変えてください。それとこの配布先に配布して、どれだけ効果があったのかの検証は考えているのでしょうか。来年につながるよう委員会の中で検討してみても如何でしょうか。意見です。
- <廣田> 先程、告知の方にポスターを審議として入れるという話しでしたが、以前伺った時には協力依頼とかを受けたあとにポスターの審議を取る流だったと思いますが。

<林> 本来であればそのような流れで審議をいただくのが流れですが、その他の内容に関して問題がなければ、案というかたちで進めさせていただきたいと思えます。少しでも早く告知の準備を進めたいというところでのお願いであります。

<中島(崇)> 補足ですが、全国大会議案の方もそういったかたちで進めており、同時審議はありということでのルールで進めておりますのでよろしく申し上げます。

<村上> 特段ございません。よろしく申し上げます。

協-09 その他

なし

14. 報告事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-04 会費納入状況について

<中島(崇)> 現在7名が未納になっております。もう一度お声掛けお願いいたします。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 推薦委員会設置について

<中島(崇)>2015年度の体制につきまして、立候補者なしということで推薦委員会を立ち上げるかたちとなりました。推薦委員会を構成いたしますのは、理事長他4名ということで、山本顧問、常任理事構成メンバーである廣田議長、羽石議長、金常任となります。

報-07 次回開催について

<中島(崇)>6月11日(水)19:00～ コンセーレ J Cルームにて開催。

15. 監事講評

<飯野>

まずは総務委員会のみなさま、今日も早い時間から設営をしていただきましてありがとうございます。

本日常任理事会ずっと聞かせていただきまして、やはり以前よりも色々なご意見が出ていて、その内容も過去の経験に基づいた的確な意見が出ていて、どんどんよくなっているなど、本当に素晴らしいメンバーだと思いました。ただあともう一步と思われるのが、今度の理事会で審議をとる案件について、やはりどうしてもこの常任理事会の場でも持ち帰る、宿題にするという意見が多いのかなと、またポスター等に関しても、持ち帰ってまた持ってくるという案件が出てしまっているということ、私が本当に危惧しているのはこのままのペースでいくと臨時理事会もありえるのかなと思えるくらいのペースだと思います。次回の理事会まであまり時間はないですけれども、もう少し作り上げていただいて、できれば次回の理事会で、理事のみなさまに十分納得していただけるような議案を作り上げていただきたいと思いますし、今後、来月以降常任理事会で出す審議案件の議案については、もうこの議案ならどこに出しても恥ずかしくないといえるような素晴らしい議案をこの場でみなさんと協議し、まとめていただくようにお願いをさせていただきたいなという

風に思います。

もう一点、これは私からの意見なのですけれども、今回、6月の全国大会関連事業でプロスポーツチームをお呼びするような話もあったかと思えます。これ当然今年度が最優先なのですけれども、来年、再来年の50周年の事業がありまして、その積立が公益事業の目的でされております。これは県には、一応プロスポーツチームを集めて、市民のためにイベントをやりますという計画が出ております。まあ計画なので、当然これは変えてもいいのですけれども、ただ一応総会等々ではそのかたちでいま出ておりますので、その準備として、どういったことができるのかなというのを引き継ぎのなかに少し残していただけると、来年、再来年に実際に動く方が助かるのかなと思えますので、その点も少し含めてもらえればと思えます。

それと今日冒頭の村上理事長のご挨拶の中で常任理事の方の役割というお言葉がございました。近年、今年もそうですけれども、大体宇都宮のメンバーは半数以上が出向、日本であったり、関東地区であったり、栃木ブロックであったり出向している状況です。そしてこれは全国大会をめざす以上はおそらく今後もこれぐらい半数近くのメンバーが出向される状況というのはあんまり変わらないのかなと、そうするとどうしてもこうLOMがわかれがちになってきてしまう面は否めないのかなと思えます。来月以降、今月もそうですが、わんぱく相撲の例会があったりですとか、今後宮まつりの会議がはじまってきたり、実際宮まつり、ダンス、本当にいろんな事業、特にマンパワーを要する事業が目白押しになってくるのかと思えます。常任理事会9回目ということで半分を過ぎたというお話もありましたけれども、実際に我々が動かなくてはならない事業というのは本当にこれからになってくるのかなと思えます。そうした時にメンバーがどうしても、そちらに気を取られたりだとか、自分の委員会に手一杯になってしまったりだとか、バラバラになってきがちですけれども、ここはやはりLOM全体がしっかりと一つに纏まっていかないと、本当にちょっとしたことが事故につながったりだとか、成功につながらないような事業がどんどん出てきます。委員長の気付かないところ、そういった全体を見てLOMを纏めていけるのが、この常任理事会のメンバーだと思いますので、その役割も合わせて私の方からお願いをさせていただきます、本日の監事講評にかえさせていただきます。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所

2014年度 第5回 常任理事会議事録

議 長：（ 専 務 理 事 ） 中 島 崇

議事録作成人：総務委員会